

令和4年度 利尻富士町文化財年報



ニシン粕製造のようす
(妙泰寺資料より:平元正海氏撮影)

目 次

1. 管理運営
 - 1) 組織
 - 2) 利尻富士町文化財保護専門委員会
 - 3) 利尻島郷土資料館月別入館者数

2. 事業・活動等
 - 1) 活動状況
 - 2) 企画展示
 - 3) 資料照会・調査研究
 - 4) 資料収集

3. 利尻富士町指定文化財・埋蔵文化財包蔵地一覧

4. 付篇:石崎海底電線陸揚庫資料(につぼん「四極」陸揚庫会議@根室)

利尻富士町教育委員会

2023年3月

〒097-0101 北海道利尻郡利尻富士町鴛泊字富士野6

tel0163-82-1370 fax0163-82-2376

e-mail:kyoui-shakyo@town.rishirifuji.hokkaido.jp

1. 管理運営

1) 組織

教育長 吉田 秀昭 次長兼社会教育係長・学芸係長 山谷 文人
社会教育係 高田 慎也 佐々木 諒介
公民館業務係 富岡 未佳 熊谷 卓耶

2) 利尻富士町文化財保護専門委員会

鈴木 祐尚 佐藤 英寛 長森 正良 西島 徹

3) 利尻島郷土資料館月別入館者数

月	個人				団体			無料 入館者	合計 人数	うち 外国人
	大人	中学生	小学生	計	大人	小中学生・身障者	計			
5	178	13	2	191	0	0	0	4	195	0
6	730	11	2	743	0	0	0	23	766	0
7	1029	18	13	1060	0	0	0	14	1074	0
8	1122	32	32	1186	317	27	0	13	1543	0
9	606	12	3	621	284	12	0	19	936	0
10	148	2	0	150	0	0	0	0	150	0
計	3811	88	52	3951	601	39	0	73	4664	0

昨年度より、1900人ほど増加し、コロナ禍のなかでも回復傾向がみられた。なお、個人については、令和元年度を上回っている。当館については、北海道デジタルミュージアムへの登録（右記QRコード参照）を行っている。



2. 事業・活動等

利尻富士町の文化遺産を生かした学び交流事業

北海道市町村振興協会のいきいきふるさと推進事業助成金の最終年度として、以下内容を実施した。利尻富士町に所在する文化遺産の調査研究を通じて、地域住民に対する学習機会の場を提供する。また、外部の研究者等を招き、地域住民の学びの促進と交流を図ることを目的としたもの。

- ・石崎海底電線陸揚庫測量・普及事業
- ・利尻神社下遺跡詳細分布調査
- ・モノクロフィルムデジタル化事業（平元正海氏ネガ4,000点）
- ・展示普及事業（活動パネル展）



1) 活動状況

開催日	行事名	対象	人数	講師
4/21	鴛小総合学習授業	4年生		山谷

6/14	利小社会科授業（資料館）	5・6年生		山谷
8/10	夏休みチャレンジ教室発掘体験（ペシ岬）			
9/1	駕小総合学習授業（カルチャーセンター・りっぶ館）	4年生		山谷
9/1	陸揚庫の活用等の説明	鬼脇まちづくり協議会		
10/23	石崎海底電線陸揚庫現地見学会			
10/29-30	利尻神社下遺跡詳細分布調査			
11/10	駕小総合学習授業（資料館）	4年生		山谷
11/22	第7回フィールド発表会（りぷら）	一般		
11/26	にっぽん「四極」陸揚庫会議@根室	web		 Youtube 配信版

月日	内 容	場 所	備 考
5/15	資料館植物園苗植え作業		
5/24	文化財保護専門委員会	役場	
5/26	管内学芸職員連絡協議会総会	web	巡回展打合せ・作業
7/13	倉本北海道教育長視察	資料館	
7/18	外来種防除会	北麓	コバノハイキンポウゲ
7/21	北海道古代集落遺跡群保存活用協議会	web	
8/1	深谷市議会視察	マクドナルド関連	
8/29, 30	北海道離島振興協議会視察	町内遺産関係	
11/11-13	試料分析・所在調査	函館高専・市博	

印刷物・執筆関係ほか

広報りしり富士「わがまちタイムスりっぶ」連載

No.253 連載 57「利尻島の古代を探る⑧利尻島最初のヒトの痕跡」

No.254 連載 58「大澤寺の鐘楼堂」

No.255 連載 59「利尻アワビ史～古代・近世編」

利尻しまじゅうエコミュージアム

しまじゅう通信No.2 コラム「地名をよむ」

利尻島遺産マップ

2) 企画展示

期間	テーマ	場所	来場者数	協力機関
6/11-7/10	管内巡回展「北のコウモリ」	カルチャーセンター	50	稚内、浜頓別、枝幸、礼文、利尻各教委
1/21-2/19	利尻富士町の文化遺産を生かした学び交流事業活動展	海の駅おしどまり		

3) 資料照会・調査研究

月日	氏名・機関名	対象資料	点数	備考
6/19	ノースメディア	北海道遺産関係		番組取材
7/26	道新取材	マクドナルド関連		古川さん紹介
8/24, 26	林部・内田教授（歴博）、鈴木・亀丸（道博）	遺跡資料、資料館		
8/26, 27	松田（大阪電通大）	墨塗り教科書		
9/17	内山・木山（東海大）	イヌ毛皮調査		
9/25	伊藤学芸員（鳥取市博）	旧村役場文書		

4) 資料収集（4年1月～4年12月受入分）

No.	資料名	点数	年代	寄贈者・提供元	備考
1	船箆笥	1		田沢太門旧宅	裏に、北海道 金澤為次郎 小樽港
2	五つ玉算盤	1		同上	
3	写真機	3	大正～昭和	地島鉄弥	
4	風景写真	10	昭和 15 年	後藤俊郎	プリント写真

3. 利尻富士町指定文化財・埋蔵文化財包蔵地一覧

大澤寺鐘楼堂について、護持会より修繕整備のための補助金申請があり、実施している。

・町指定文化財（20件）

昭和54年10月26日指定

No.	名称	年代	種別	所在地	所有者・管理者
1	南浜獅子神楽	明治中期	無形民俗文化財	鬼脇字南浜	南浜獅子神楽保存会
2	奥の院（利意志里山大権現）	明和2 [1765] ?	有形文化財	鴛泊字本泊	本泊自治会
3	巖島神社	18C末～19C初	有形文化財	鴛泊字港町	港町自治会
4	会津藩士の墓	文化5 [1808]	有形文化財	鴛泊字本泊 慈教寺	本泊自治会
5	会津藩士の墓	文化5 [1808]	有形文化財	鴛泊字港町 ベシ岬	碑保存顕彰会
6	本泊頓宮鳥居	天保9 [1838]	有形文化財	鴛泊字本泊	本泊自治会
7	利尻山神社境内	明治9 [1876]	有形文化財	鴛泊字本町	利尻山神社
8	リイシリ運上屋跡	明和2 [1765]	史跡	鴛泊字本泊	利尻富士町
9	金刀比羅神社本殿	明治25 [1892]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	世話人会
10	北見神社境内	明治32 [1899]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	北見神社
11	利尻島郷土資料館	大正2 [1913]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	利尻富士町

12	大沢寺鐘楼堂	明治 28[1895]	有形文化財	鬼脇字鬼脇	大沢寺
13	桐山三四郎顕彰碑	明治 44[1911]	有形文化財	鬼脇字鬼脇桐山公園内	利尻富士町
14	綱島貞助顕彰碑	昭和 2 [1927]	有形文化財	鬼脇字鬼脇北見神社内	北見神社
15	北海道三景の碑	大正 13[1924]	有形文化財	鬼脇字鬼脇北見神社内	北見神社
16	宗谷区務所往書留	明治 10[1877]	古文書	鬼脇字鬼脇	利尻富士町 (資料館蔵)
17	栄町キャンプ場遺跡	旧石器時代	史跡	鴛泊字栄町	利尻富士町
18	沼浦湿原		天然記念物	鬼脇字沼浦	利尻富士町
19	南浜湿原		天然記念物	鬼脇字南浜	利尻富士町
20	ラナルド・マクドナルド渡島の地	嘉永元[1848]	史跡	鴛泊字野塚	利尻富士町

・埋蔵文化財包蔵地 (20 件)

登載番号	名称	種別	現状	所在地	年代
H-10-1	大磯 1 遺跡	遺物包含地	雑種地	鴛泊字大磯 126-1・2, 127~132, 134-1, 151, 153~156, 157-1~5, 158, 159-1~5, 160~162, 179-1~3, 180~182	縄文中期 ~続縄文
H-10-2	大磯 2 遺跡	集落跡	原野	鴛泊字大磯 31-2, 38-1・3, 40, 41, 59~62, 63-1・2, 64, 65-1・2, 66~70, 86-1・2, 88, 89, 93, 94, 95-1・2, 96-1・2, 97, 98-1・2, 99, 100	縄文中期 ~オホーツク
H-10-3	本泊遺跡	集落跡	原野、宅地、畑	鴛泊字大磯 3, 4, 5-1・2, 6, 7, 31-1, 字本泊 221-1, 222, 223-1~3, 224, 226-1~3, 227-1・2, 228, 229, 232-1・2, 248, 249, 250-1~4, 251-1~3, 252, 253-1・2・4・5, 261-1~4, 262-1~3, 263, 264, 266~269, 270-1, 271, 1126~1128, 1133-1・3・4	縄文中後期、 擦文
H-10-4	栄町遺跡	遺物包含地	宅地、畑	鴛泊字栄町 222~224-1, 343	縄文中後期
H-10-5	栄町キャンプ場遺跡	遺物包含地	植林地	鴛泊字栄町 227-3	旧石器、縄文
H-10-6	港町 1 遺跡	集落跡	畑	鴛泊字港町 121, 122, 138, 139-1・2・3, 140~147, 198-1	縄文中期
H-10-7	利尻富士町役場遺跡	集落跡	宅地	鴛泊字港町 118-1・4, 119-1~3, 120-1・2, 121-1・2, 122-1・2, 123-1・2・5, 124, 125-1, 126-1~3, 132, 133, 137, 279-1・2	縄文早晩期 ~オホーツク
H-10-8	ペシ岬遺跡	遺物包含地	原野、畑	鴛泊字港町 90, 93, 94, 96~98, 264	続縄文 ~オホーツク
H-10-9	鴛泊港遺跡	遺物包含地	港湾用地、原野	鴛泊字港町 86-3, 87-1~3, 88-1・3・5, 90	オホーツク
H-10-10	ペシ岬灯台遺跡	遺物包含地	灯台用地	鴛泊字港町 90	続縄文 ~オホーツク
H-10-11	野塚展望台遺跡	遺物包含地	原野、畑	鴛泊字野塚 279-1・2, 280, 281, 282-2, 283-1・2, 284, 287-1~6, 国有未開地	縄文中晩期

H-10-12	野塚岬遺跡	遺物包含地	畑	鴛泊字野塚 206, 207, 209 ~ 214, 242 ~ 248, 249-1~3, 250	縄文 ~オホーツク
H-10-13	野塚遺跡	遺物包含地	畑	鴛泊字野塚 101-1・2, 102-1~6, 103-1~12, 107-1~4・9・12~15, 109, 110-1~4, 111, 112, 113-1~3, 114, 115-1~3, 116-1~3, 117~122, 124, 125-1・2, 126-1・3・4・5	縄文 ~オホーツク
H-10-14	野塚第2遺跡	遺物包含地	宅地	鴛泊字野塚 11-1・2, 12, 15, 15-1, 16, 26, 27, 28-1・2, 29~31, 32-1・2・8~19, 33-2, 35-2	縄文中期
H-10-15	鬼脇遺跡	遺物包含地	原野、畑	鬼脇 10~12, 313	オホーツク
H-10-16	沼浦海水浴場遺跡	貝塚	畑	鬼脇字沼浦 110~122, 123-1・2, 124~130, 131-1, 133-1, 143-1・2, 144-1・2, 148-1, 149-1, 150, 151, 187, 188-1~3, 190-1, 国有未開地	縄文後晩期~ 擦文
H-10-17	沼浦遺跡	貝塚	宅地、畑	鬼脇字沼浦 88-4, 89-1・2, 90, 99, 100, 101-1・2, 102-1・2, 197, 198, 199-1・2, 200-1・2, 201-1・2, 203	縄文晩期 ~オホーツク
H-10-18	本泊小学校遺跡	遺物包含地	畑、原野、校地	鴛泊字本泊 106	擦文
H-10-19	利尻神社下遺跡	遺物包含地	畑	鴛泊字本町 138-1・2, 栄町 227-11, 国有地	続縄文 ~オホーツク
H-10-20	港町2遺跡	遺物包含地	畑	鴛泊字港町 146, 147, 国有林	縄文後期

石崎海底電線陸揚庫について

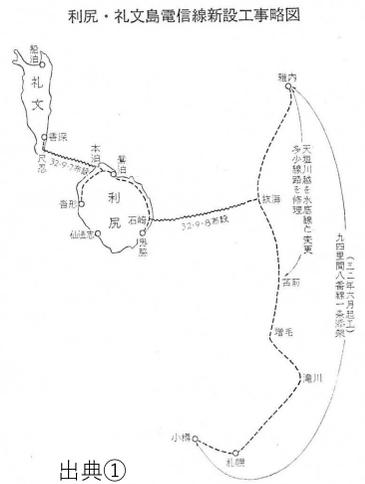


2022年11月26日
 にっぽん「四極」陸揚庫会議@根室 発表資料
 利尻富士町教育委員会 山谷 文人

利尻島の位置と周辺



電信線敷設の経緯 (明治期)

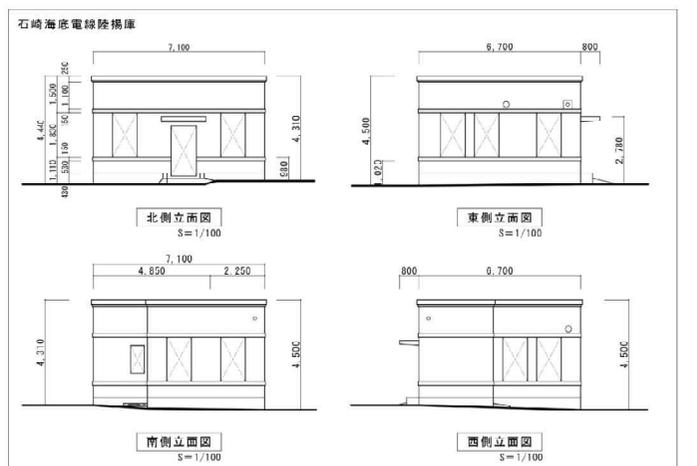


出典①

1896(明治29)年 意見書「利尻礼文海底電線敷設ノ件」 国立公文書館デジタルアーカイブ

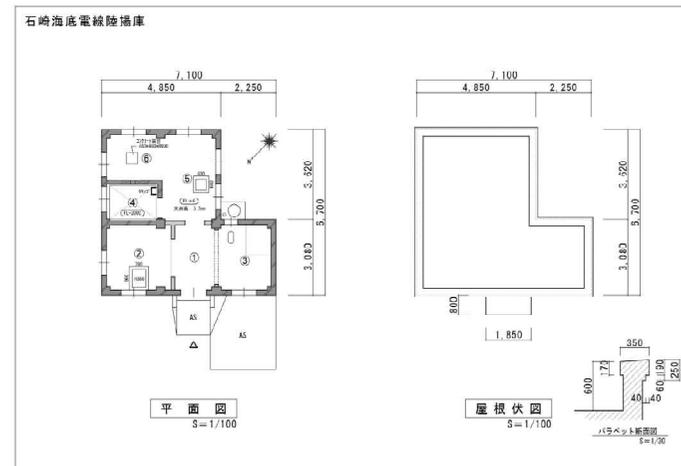
意見書
 利尻礼文海底電線敷設ノ件
 北海道後志国高島郡稲穂町平民松村
 米三外十五名呈出
 右ノ請願ハ北見国利尻礼文兩郡ノ北海道ノ西
 北端ニ位シ周圍各十數里固ヨリ一小島トリト
 雖其ノ海産ノ豊饒ナル他ニ比類ナク毎島一々
 年ノ收穫多キハ百万圓ニ達ス故ノ古來傳ヘテ
 北海ノ寶庫ナリト稱ス而シテ其ノ天鹽沿岸ノ
 地ノ距ル一葉帯水ノミ地勢已ニ斯ノ如クナレ
 トニ毎歲寒威凜冽朔風岸ヲ打ツノ時ニ際スレ
 ハ船隻往來ノ絶ト通信交通ノ道ナク供給
 ノ需要ニ應セズ為ニ糧食ノ缺乏ノ未シ生民飢
 餓ニ迫ルニ憂アリテ實ニ痛嘆措ク能ハサル所
 ナリ因テ之レカ救済ノ道ヲ講ムルニ天鹽國沿
 岸ヨリ利尻礼文兩島ニ達スル海底電線ヲ敷設
 シ通信ノ便ヲ開クニテアリ加之西比利里及薩哈
 啞島沿岸漁業出稼人ハ函館入ハ小樽ノ其ノ船
 艚ノ準備ヲ整ヘ利尻又ハ禮文ノ破泊ノ基點ト
 シテ航海ヘリ電信ノ必要最モ大ナリ故ニ此兩

立面図

2022年8月
測量

平面形は
L字形。
6つの
ブロック
よりなる。

建築面積
約40m²



① 入口部 (庇)



② 台座 (炭化物散布=ストーブ?)



③ トイレ (便槽)

- * 有人であった証明か
- * 上下水道は、なし



【左】 4心線：昭和5年敷設？（電話用か）
【右】 2心線：明治34年敷設？（電報用か）



活用を模索するための取組

【2021年】

- 新聞社の取材照会により、調査し建物の用途と構造が判明
- 町広報への記事掲載
- フィールド発表会での情報提供

【2022年】

- 整備活用を目的とした助成事業の活用「いきいきふるさと推進事業」
- 現存建物の測量・記録
- 鬼脇まちづくり協議会での情報提供
- 住民向けの現地見学会
- 住民向けの展示会



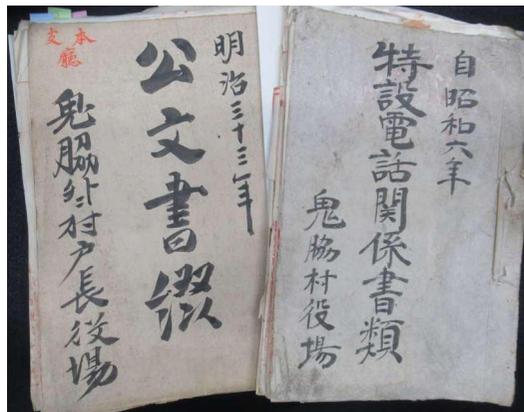
住民向け現地見学会
2022年10月23日（電信電話の日）



今後の取組と課題

- まちづくり協議会主体の周辺環境（石埼灯台、二石パーク（広場）など）を含めた整備（散策路などのスポット化、説明板の設置など）
- 当時の記録（文書、新聞、写真、聞き取りなど）の収集と情報公開
- オネトマナイ陸揚庫との比較調査、連携
- 所有の問題（*旧国有地（不明土地、登録なし））があり、整備や文化財指定などを進めるにあたってネックとなっている。

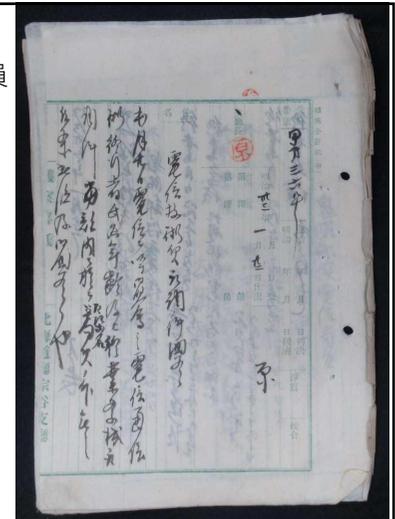
旧鬼脇村役場文書
郵便局、電報、電話に関する記録



明治33年「公文書綴」には

電報送達紙

電信技術員
取調の件



礼文島との海底電線

大磯（オビヤタンナイ）、礼文ともに痕跡はないが、この海岸に注ぐオビヤタンナイ沢川は、かつて「デンシンの沢」と呼ばれていた。



近郊の大磯漁港には、現在の電信線標識が➡



参考文献・出典

- ①北海道の電信電話史 1964年
- ②利尻富士町史 1998年
- ③北海道本島沿岸水路誌 1936年
- ④海底電線説明書 1912年
- ⑤鬼脇村勢一班 1922年
- ⑥利尻全嶋地図 1902年